

2021年度 授業評価アンケート

看護学科 FD・SD委員会

この学生による授業評価アンケートは、本学科におけるよりよい授業と教育環境を目指して、各科目担当教員が授業を振り返り改善するためのカリキュラム上の資料とするものです。広く学生の皆さんから意見を取り入れるために、ご協力をお願いします。

このアンケートは成績評価等に一切影響ありません。なお、学生個人の回答を教員は、閲覧できません。アンケートの回答は、個人が特定できないようにして集計します。

* 教員が複数で担当の場合は、概ねの状況で判断し、特記事項があれば、自由記載に記述して下さい。

以下の質問について、あなたにあてはまると思う番号を選択して下さい。

| | 非常に そう思う | ある程度 そう思う | あまり そう思わない | まったく そう思わない | 該当しない |
|--|-------------|--------------|---------------|----------------|-------|
| 1. 授業の技法について | | | | | |
| 1) 視聴覚教材の使用は適切でしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 2) 授業のテキストや資料の活用は適切でしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 3) 授業内容について、教員の説明はわかりやすかったですか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 4) 話し方や声の大きさは適切でしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 5) 学生が質問や意見を述べられるように配慮していましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 6) 質問や要望への対応は親身で適切でしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 2. 授業の内容について | | | | | |
| 1) 毎回の授業のねらいは明確でしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 2) この授業を受けて、関連する分野の理解と関心が深まりましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 3) 授業内容は理解できるものでしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 4) 授業を受けて満足感がありましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 5) 成績評価の方法は適切だと思いますか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 6) この科目は該当DPを達成できる内容でしたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 3. あなた自身の学習態度について | | | | | |
| 1) 講義要項(シラバス)を見ましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 2) 意欲的に授業に参加しましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 3) 授業を受けるマナー(教員とのメールのやり取りを適切に行うこと、遅刻・中座・居眠り・飲食・私語・携帯電話・内職等をしないこと)を守れましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 4) 授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習(課題、予習・復習等)をどの程度行いましたか | 60分以上 | 40-59分 | 20-39分 | 0-19分 | |
| 4. 授業でのICT()の活用状況について | | | | | |
| 1) 教員は、授業でICTを効果的に活用していましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 2) あなたは、授業でトラブルなくICTを活用できましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 3) あなたは、ICTを用いて効果的に学習できましたか | 4 | 3 | 2 | 1 | |

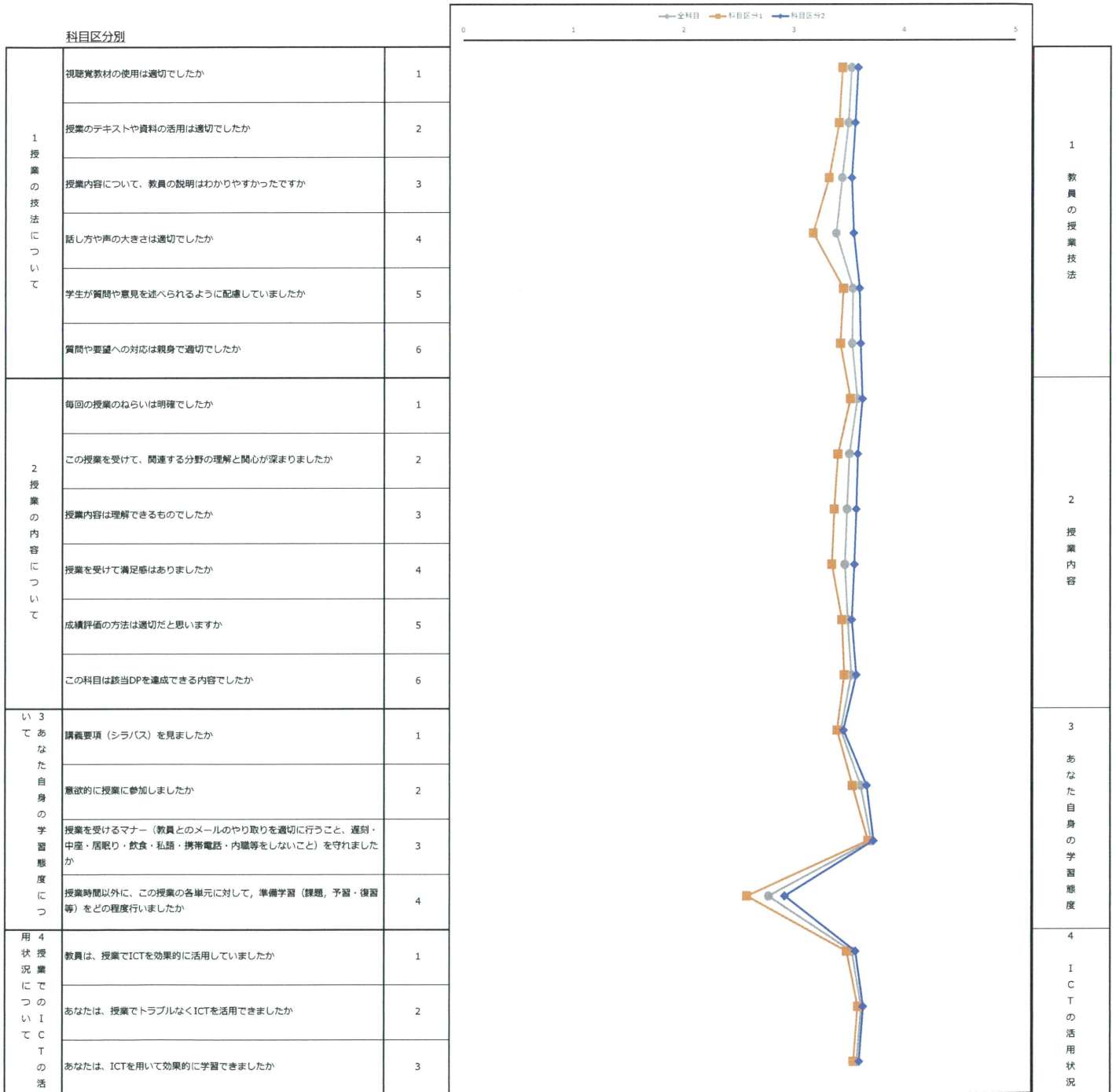
今後の改善のために、教員の学生への対応(教員のハラスメントの有無や学生の私語等への対応を含む)で気がついたことがあれば具体的に状況がわかるように記載してください。

科目の内容、担当教員について等、気づいたことを自由に記載してください。

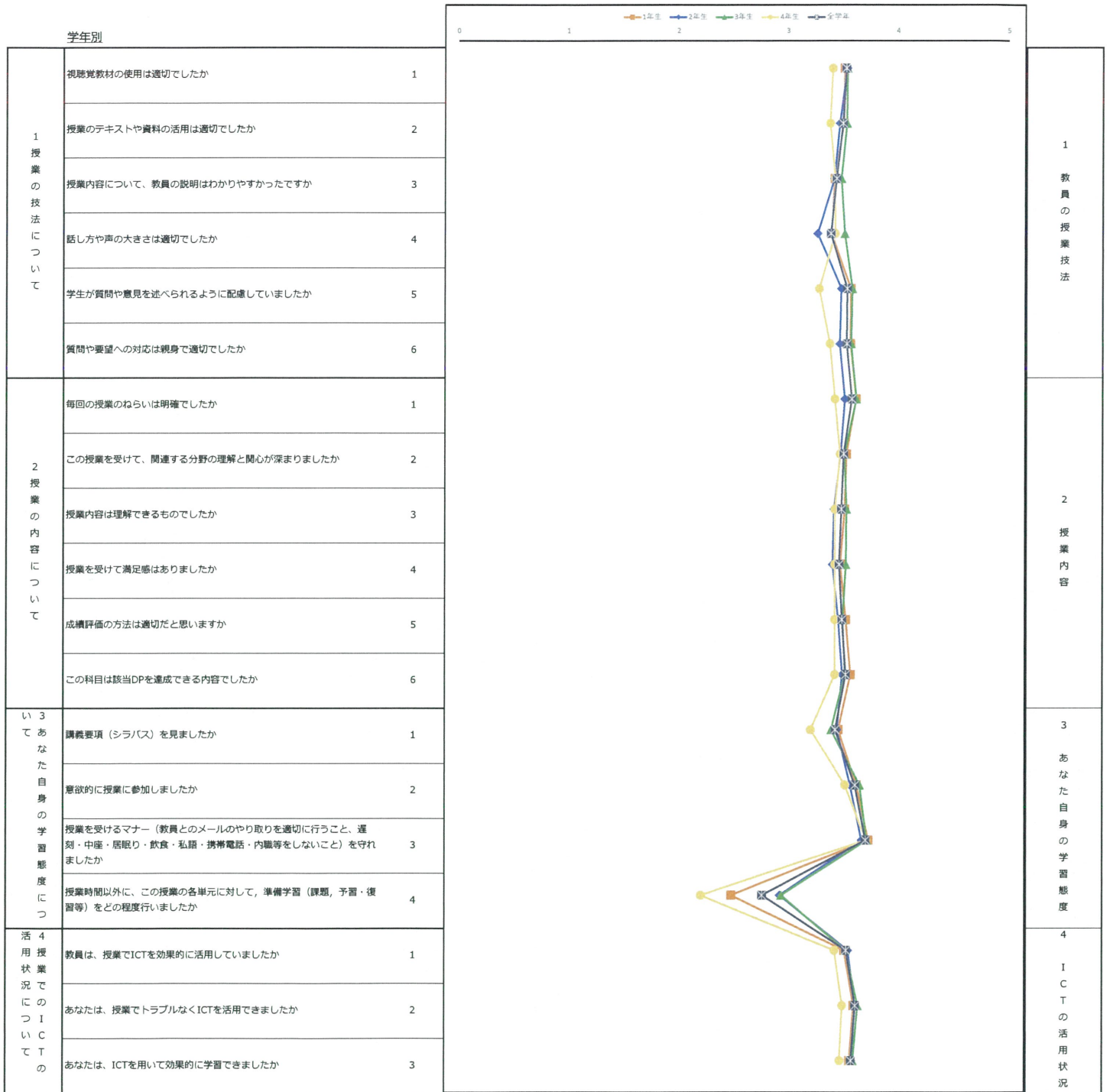
2021年度 前期授業評価 各科目大項目平均値

| | 科目番号 | 実施科目 | 学年 | 大項目平均値 |
|----|------|--------------|----|--------|
| 1 | 1-1 | 自然科学総論(物理) | 1 | 3.23 |
| 2 | 1-2 | 自然科学総論(生物) | 1 | 3.61 |
| 3 | 1-3 | 自然科学総論(化学) | 1 | 3.39 |
| 4 | 2 | 情報科学 | 1 | 3.05 |
| 5 | 3 | 英語 I-1 | 1 | 3.62 |
| 6 | 4 | 家族社会学 | 1 | 3.5 |
| 7 | 5 | 解剖生理学 I | 1 | 3.67 |
| 8 | 6 | 解剖生理学 II | 1 | 3.55 |
| 9 | 7 | 音楽 | 1 | 3.79 |
| 10 | 8 | 保健体育(実技) | 1 | 3.32 |
| 11 | 9 | 看護学概論 | 1 | 3.45 |
| 12 | 10 | 精神看護学概論 | 1 | 3.43 |
| 13 | 11 | 成人看護学概論 | 1 | 3.52 |
| 14 | 12 | 老年看護学概論 | 1 | 3.58 |
| 15 | 13 | 看護総合演習 I | 1 | 3.69 |
| 16 | 14 | ボランティア論 | 1 | 3.7 |
| 17 | 15 | 生化学 | 2 | 3.26 |
| 18 | 16 | 薬理学 | 2 | 3.3 |
| 19 | 17 | 微生物学 | 2 | 3.41 |
| 20 | 18 | 免疫学 | 2 | 3.42 |
| 21 | 19 | 病理学 | 2 | 3.41 |
| 22 | 20 | 社会福祉学 | 2 | 3.33 |
| 23 | 21 | 臨床心理学 | 2 | 3.55 |
| 24 | 22 | 生命倫理学 | 2 | 3.44 |
| 25 | 23 | 疾病・治療学 II | 2 | 3.4 |
| 26 | 24 | 疾病・治療学 III | 2 | 3.39 |
| 27 | 25 | 看護と倫理 | 2 | 3.47 |
| 28 | 26 | 看護過程 I | 2 | 3.71 |
| 29 | 27 | 生活過程援助論 II | 2 | 3.68 |
| 30 | 28 | 看護総合演習 II | 2 | 3.55 |
| 31 | 29 | 地域看護方法論 I | 2 | 3.51 |
| 32 | 30 | 国際看護論 | 2 | 3.62 |
| 33 | 31 | ボランティア論 | 2 | 3.33 |
| 34 | 33 | 保健医療福祉行政論 | 3 | 3.21 |
| 35 | 34 | 精神看護方法論 II | 3 | 3.64 |
| 36 | 35 | 周産期看護方法論 II | 3 | 3.6 |
| 37 | 36 | 小児看護方法論 II | 3 | 3.59 |
| 38 | 37 | 急性期看護論 | 3 | 3.44 |
| 39 | 38 | 老年看護方法論 II | 3 | 3.61 |
| 40 | 39 | 成人看護方法論 | 3 | 3.57 |
| 41 | 40 | 在宅看護方法論 | 3 | 3.43 |
| 42 | 41 | 看護過程 III | 3 | 3.58 |
| 43 | 42 | 看護総合演習 III | 3 | 3.53 |
| 44 | 43 | 公衆衛生看護活動論 | 3 | 3.68 |
| 45 | 44 | 公衆衛生看護管理論 | 3 | 3.66 |
| 46 | 45 | 感染看護論 | 3 | 3.44 |
| 47 | 46 | リハビリテーションケア論 | 3 | 3.45 |
| 48 | 47 | 災害看護論 | 3 | 3.49 |
| 49 | 49 | 看護看護論 | 3 | 3.37 |

2021年度前期 講義科目 設問別平均値



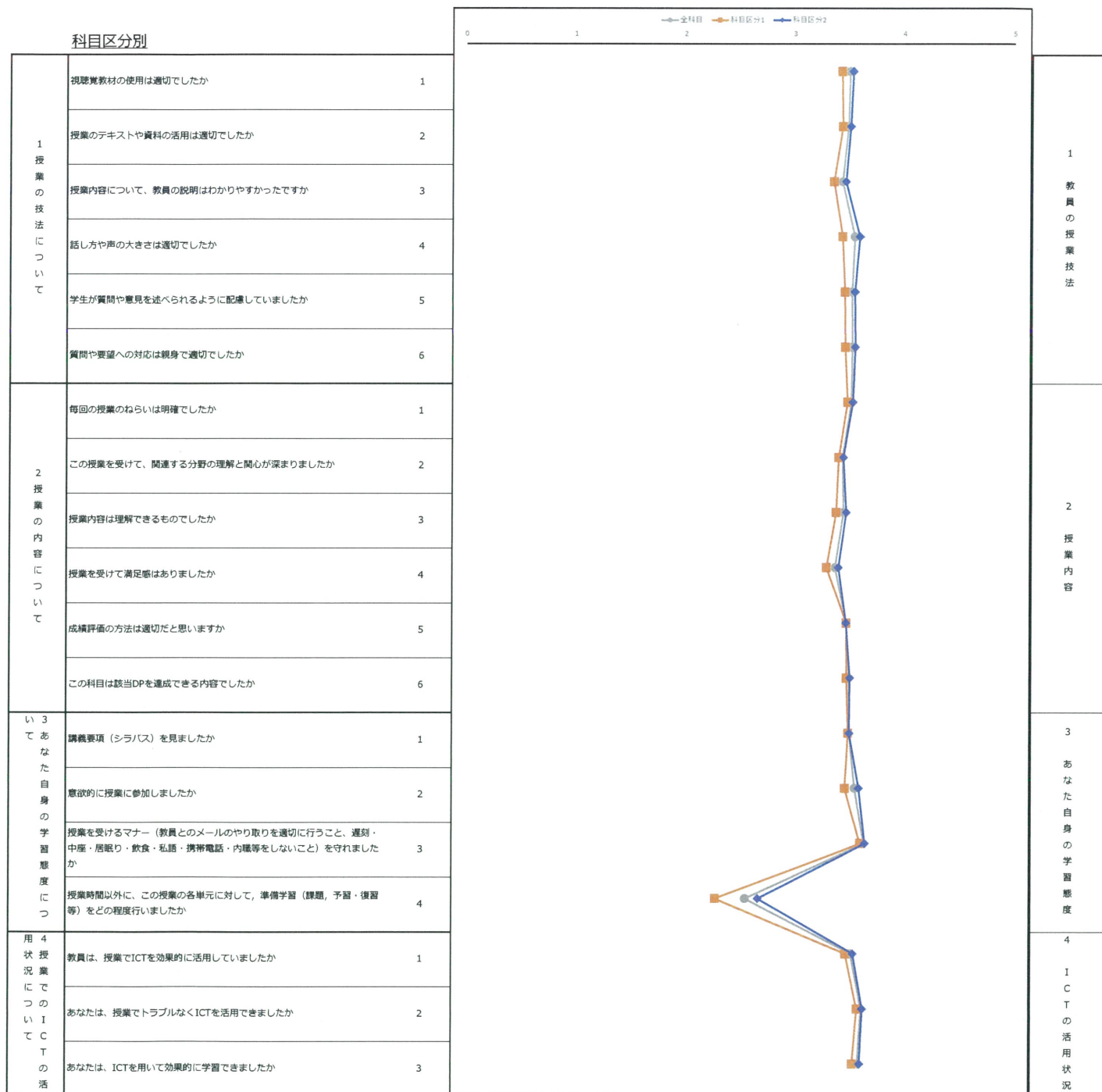
2021年度前期 講義科目 設問別平均値



2021年度 後期授業評価 各科目大項目平均値

| | 科目番号 | 実施科目 | 学年 | 大項目平均値 |
|----|------|------------------|----|--------|
| 1 | 52 | 人文科学系科目 哲学 | 1 | 3.68 |
| 2 | 53 | 人文科学系科目 ヨーロッパ文化 | 1 | 3.49 |
| 3 | 54 | 人文科学系科目 心理学 | 1 | 3.86 |
| 4 | 55 | 人文科学系科目 日本史 | 1 | 3.77 |
| 5 | 56 | 人文科学系科目 欧米文学 | 1 | 3.39 |
| 6 | 57 | 人文科学系科目 教育学 | 1 | 3.84 |
| 7 | 58 | 人文科学系科目 文化人類学 | 1 | 3.61 |
| 8 | 59 | 人文科学系科目 西欧史 | 1 | 3.58 |
| 9 | 60 | 人文科学系科目 倫理学 | 1 | 3.82 |
| 10 | 61 | 人文科学系科目 比較文化学 | 1 | 2.54 |
| 11 | 62 | 社会科学系科目 法学 | 1 | 3.61 |
| 12 | 63 | 社会科学系科目 社会保障学 | 1 | 3.01 |
| 13 | 64 | 社会科学系科目 環境社会論 | 1 | 3.87 |
| 14 | 65 | 社会科学系科目 社会学 | 1 | 3.89 |
| 15 | 66 | 社会科学系科目 社会政策学 | 1 | 3.38 |
| 16 | 67 | 社会科学系科目 政治学 | 1 | 3.45 |
| 17 | 68 | 社会科学系科目 経済学 | 1 | 3.15 |
| 18 | 69 | 社会科学系科目 現代社会論 | 1 | 3.84 |
| 19 | 70 | 社会科学系科目 国際関係論 | 1 | 3.5 |
| 20 | 71 | 社会科学系科目 共生社会論 | 1 | 3.86 |
| 21 | 72 | 日本語表現法 ☆ | 1 | 3.61 |
| 22 | 73 | 医療総論演習 ☆ | 1 | 3.33 |
| 23 | 74 | サービス・ラーニング | 1 | 3.78 |
| 24 | 75 | 保健体育(講義) | 1 | 3.19 |
| 25 | 76 | 物理学実験 | 1 | 3.94 |
| 26 | 77 | 生物学実験 | 1 | 3.73 |
| 27 | 78 | 化学実験 | 1 | 3.81 |
| 28 | 79 | 解剖生理学Ⅲ | 1 | 3.39 |
| 29 | 80 | 英語Ⅰ-2 | 1 | 3.36 |
| 30 | 81 | 疾病・治療学Ⅰ | 1 | 3.34 |
| 31 | 82 | 母性看護学概論 | 1 | 3.6 |
| 32 | 83 | 地域看護学概論 | 1 | 3.56 |
| 33 | 84 | 小児看護学概論 | 1 | 3.74 |
| 34 | 85 | フィジカルアセスメント | 1 | 3.78 |
| 35 | 86 | 生活過程援助論Ⅰ | 1 | 3.82 |
| 36 | 87 | 症状マネジメント | 1 | 3.78 |
| 37 | 88 | 看護対象論 | 1 | 3.74 |
| 38 | 89 | 外国語Ⅰ 医療英会話 | 2 | 3.07 |
| 39 | 90 | 外国語Ⅱ 英語Ⅱ | 2 | 2.84 |
| 40 | 91 | 外国語Ⅱ 独語 | 2 | 3.52 |
| 41 | 92 | 外国語Ⅱ 中国語 | 2 | 3.6 |
| 42 | 93 | 外国語Ⅱ 仏語 | 2 | 3.81 |
| 43 | 94 | 保健統計学 | 2 | 2.95 |
| 44 | 95 | 疫学 | 2 | 3.5 |
| 45 | 96 | 公衆衛生学 | 2 | 3.32 |
| 46 | 97 | 医療福祉システム論 | 2 | 3.19 |
| 47 | 98 | 臨床栄養学 | 2 | 3.35 |
| 48 | 99 | 精神看護方法論Ⅰ | 2 | 3.7 |
| 49 | 100 | 周産期看護方法論Ⅰ | 2 | 3.63 |
| 50 | 101 | 小児看護方法論Ⅰ | 2 | 3.57 |
| 51 | 102 | 慢性期看護論 | 2 | 3.49 |
| 52 | 103 | 老年看護方法論Ⅰ | 2 | 3.4 |
| 53 | 104 | 地域看護方法論Ⅱ | 2 | 3.42 |
| 54 | 105 | 在宅看護学概論 | 2 | 3.4 |
| 55 | 106 | 看護過程Ⅱ | 2 | 3.15 |
| 56 | 107 | メンバーシップ・リーダーシップ論 | 2 | 3.46 |
| 57 | 108 | 家族看護論 | 2 | 3.54 |
| 58 | 109 | サービス・ラーニング | 2 | 4 |
| 59 | 110 | 国際看護実践Ⅰ | 2 | 3.74 |
| 60 | 111 | 研究方法論 | 3 | 3.31 |
| 61 | 112 | 国際看護実践Ⅱ | 3 | 3.92 |
| 62 | 114 | 応用看護論Ⅱ 緩和ケア論コース | 3 | 3.83 |
| 63 | 115 | メンバーシップ・リーダーシップ論 | 4 | 3.22 |
| 64 | 116 | 医療経済学 | 4 | 3.12 |
| 65 | 117 | 日本国憲法 | 4 | 3.39 |
| 66 | 119 | クリティカルケア論 | 4 | 3.4 |
| 67 | 120 | 緩和ケア論 | 4 | 3.66 |
| 68 | 121 | 創傷ケア論 | 4 | 3.47 |
| 69 | 122 | 看護総合演習Ⅳ | 4 | 3.28 |
| 70 | 123 | 看護研究 | 4 | 3.6 |

2021年度後期 講義科目 設問別平均値



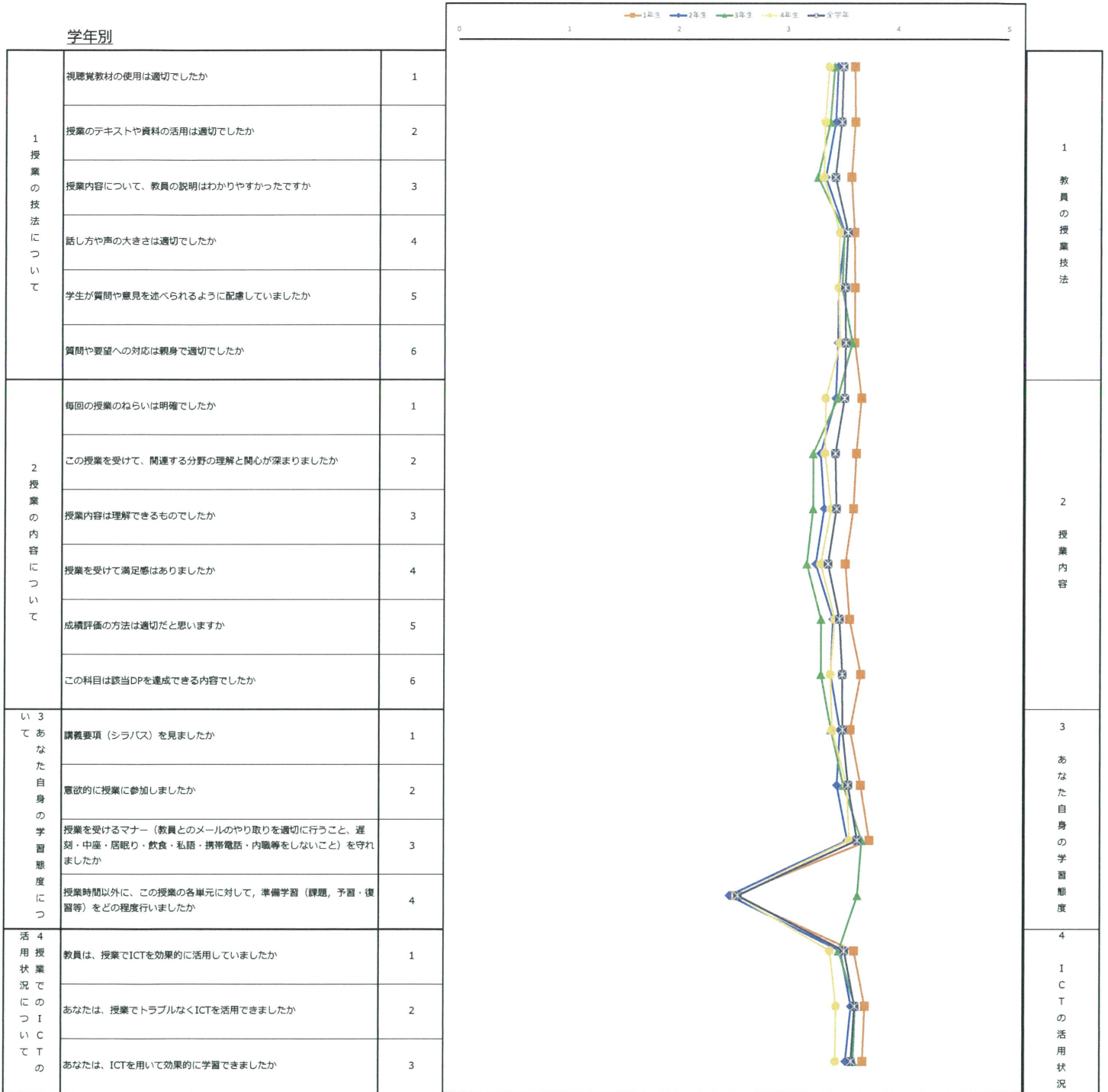
1
教員の授業技法

2
授業内容

3
あなた自身の学習態度

4
ICTの活用状況

2021年度後期 講義科目 設問別平均値



2021 年度 授業評価の実施報告

看護学科 FD・SD 委員会

看護学科では、e-learning システムを利用した学生による授業評価を前期・後期と実施し、その結果を受けて担当教員は授業改善に取り組んでいる。本年度は、開講された全科目において学生による授業評価を実施した。また、本年度は、昨年度に引き続き、授業方法が遠隔と登校での対応であったため、双方の授業に対応できる評価項目で実施した。評価項目は、1.授業の技法に関する6項目、2.授業の内容に関する6項目、3.自身の学習態度に関する4項目、4.授業でのICTの活用状況に関する3項目の計19項目であり、「1:まったくそう思わない」、「2:あまりそう思わない」、「3:ある程度そう思う」、「4:非常にそう思う」の4段階で評価した。さらに、教員のハラスメントを含めた教員の学生への対応や科目の内容・担当教員に関する内容について、自由に記載できるようにした。

学生の実施状況

昨年度は、Covid-19の感染拡大の影響を受け、授業方法が遠隔と登校での対応であったため、科目責任者に対して科目の最終授業日に授業評価の依頼を行った。また、学生に対しては、前期の終了時期に授業評価の目的・意義を含め、授業評価の依頼を数回 e-portfolio を通して行った。本年度は、前期47科目の授業評価を実施し、前期の授業評価実施率は、1年生14科目、平均60%、2年生17科目、平均66%、3年生15科目、平均68%、4年生1科目、平均71%であった。全体では66%の実施率であった。後期は、通年科目を含め70科目の授業評価を実施した。授業評価実施率は、1年生37科目、平均53%、2年生22科目、平均48%、3年生3科目、平均56%、4年生、8科目、平均44%であった。全体では50%の実施率であった。

評価結果

1.前期の大項目

- 1) 全学年の平均値は、全体が 3.49(SD=0.66)、授業の技法が 3.49(SD=0.66)、授業の内容が 3.51(SD=0.57)、自身の学習態度が 3.38(SD=0.83)、授業でのICTの活用が 3.58(SD=0.56)であった。
- 2) 1年生の平均値は、全体が 3.49(SD=0.72)、授業の技法が 3.50(SD=0.71)、授業の内容が 3.54(SD=0.61)、自身の学習態度が 3.33(SD=0.88)、授業でのICTの活用が 3.56(SD=0.64)であった。
- 3) 2年生の平均値は、全体が 3.46(SD=0.65)、授業の技法が 3.44(SD=0.69)、授業の内容が 3.46(SD=0.57)、自身の学習態度が 3.41(SD=0.75)、授業でのICTの活用が 3.58(SD=0.52)であった。
- 4) 3年生の平均値は、全体が 3.52(SD=0.62)、授業の技法が 3.54(SD=0.58)、授業の内容が 3.54(SD=0.53)、自身の学習態度が 3.43(SD=0.84)、授業でのICTの活用が 3.59(SD=0.51)であった。
- 5) 4年生の平均値は、全体が 3.37(SD=0.62)、授業の技法が 3.38(SD=0.52)、授業の内容が 3.44(SD=0.51)、自身の学習態度が 3.17(SD=0.87)、授業でのICTの活用が 3.47(SD=0.51)であった。
- 6) 授業の技法、授業の内容、自身の学習態度、ICTの活用状況のすべてにおいて、3年生が最も高かった。授業内容に関しては、1年生と同位であった。全ての設問の平均値は、高い順に3年、1年、2年、4年であった。

7) 科目区分別における教養教育科目の平均値は、全体が 3.40(SD=0.72)、授業の技法が 3.37(SD=0.76)、授業の内容が 3.43(SD=0.62)、自身の学習態度が 3.30(SD=0.84)、授業での ICT の活用が 3.54(SD=0.61)であった。

7) 科目区分別における看護専門科目の平均値は、全体が 3.55(SD=0.61)、授業の技法が 3.57(SD=0.56)、授業の内容が 3.58(SD=0.52)、自身の学習態度が 3.45(SD=0.80)、授業での ICT の活用が 3.60(SD=0.52)であり、全体的に高評価であった。

8) 教養教育科目と看護専門科目の科目区分の平均値を比較すると、全体および設問の平均、授業の技法、授業の内容、自身の取り組み、ICT の活用状況の全ての項目で看護専門科目が高くなっていた。

2.前期の小項目

1) 前 19 項目のうち、全学年および 1 年生、2 年生、3 年生、4 年生の各学年において、平均値が 3.0 以上であった項目は、18 項目であった。平均値が 3.0 以下であった項目は、3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習・復習等）をどの程度行いましたか」の 1 項目でのみであった。

2) 教養教育科目および看護専門科目ともに、全学年および各学年の平均値と同様に、平均値が 3.0 以上であった小項目は 18 項目であった。平均値が 3.0 以下であった小項目は、3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習、復習等）をどの程度行いましたか」の 1 項目であった。教養教育科目および看護専門科目ともに準備学習の実施が難しい状況があった可能性が考えられる。

3.後期の大項目

1) 全学年の平均値は、全体が 3.47(SD=0.69)、授業の技法が 3.51(SD=0.62)、授業の内容が 3.46(SD=0.65)、自身の学習態度が 3.32(SD=0.88)、授業での ICT の活用が 3.58(SD=0.57)であった。

2) 1 年生の平均値は、全体が 3.57(SD=0.69)、授業の技法が 3.61(SD=0.63)、授業の内容が 3.62(SD=0.62)、自身の学習態度が 3.38(SD=0.89)、授業での ICT の活用が 3.68(SD=0.55)であった。

3) 2 年生の平均値は、全体が 3.39(SD=0.69)、授業の技法が 3.45(SD=0.63)、授業の内容が 3.36(SD=0.67)、自身の学習態度が 3.25(SD=0.86)、授業での ICT の活用が 3.54(SD=0.56)であった。

4) 3 年生の平均値は、全体が 3.44(SD=0.57)、授業の技法が 3.45(SD=0.54)、授業の内容が 3.29(SD=0.56)、自身の学習態度が 3.56(SD=0.57)、授業での ICT の活用が 3.57(SD=0.49)であった。

5) 4 年生の平均値は、全体が 3.37(SD=0.68)、授業の技法が 3.41(SD=0.58)、授業の内容が 3.38(SD=0.61)、自身の学習態度が 3.27(SD=0.91)、授業での ICT の活用が 3.44(SD=0.61)であった。

6) 授業の技法、授業の内容、ICT の活用状況で、1 年生が最も高かった。自身の学習態度については、3 年生が最も高かった。全ての設問の平均値は、高い順に 1 年、3 年、2 年、4 年であった。

7) 科目区分別における教養教育科目の平均値は、全体が 3.40(SD=0.77)、授業の技法が 3.43(SD=0.72)、授業の内容が 3.43(SD=0.71)、自身の学習態度が 3.22(SD=0.95)、授業での ICT の活用が 3.54(SD=0.66)であった。

8) 科目区分別における看護専門科目の平均値は、全体が 3.49(SD=0.65)、授業の技法が 3.54(SD=0.57)、授業の内容が 3.48(SD=0.62)、自身の学習態度が 3.36(SD=0.84)、授業での ICT の活用が 3.60(SD=

0.52)であり、全体的に高評価であった。

9) 教養教育科目と看護専門科目の科目区分の平均値を比較すると、全体および設問の平均、授業の技法、授業の内容、自身の取り組み、ICTの活用状況の全ての項目で著明な差は見られなかった。

4.後期の小項目

1) 全学年および1年生、2年生、4年生の各学年において、平均値が3.0以上であった小項目は18項目であり、平均値が3.0以下であった小項目は、3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習、復習等）をどの程度行いましたか」の1項目のみであった。3年生は、全小項目ともに、平均値が3.0以上であった。3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習、復習等）をどの程度行いましたか」は、平均値3.65であった。

2) 教養教育科目および看護専門科目ともに、全学年および各学年の平均値と同様に、平均値が3.0以上であった項目は18項目であり、平均値が3.0以下であった項目は、3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習、復習等）をどの程度行いましたか」の1項目であった。

3) 3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習、復習等）をどの程度行いましたか」の前期における平均値は、教養専門科目が2.25、看護専門科目が2.92であった。後期の平均値は、教養専門科目が2.29、看護専門科目が2.68であり、全体的に低値となっていた。

3.考察

昨年度は、教員の遠隔授業対応として、PC用マイクの購入ができない、ノートPCが適切に音声を拾わない等、遠隔授業を行うに当たっての物品や環境が整っていない状況が見受けられた。しかし、本年度は、それらの改善が図れ、教員のICTの活用も慣れてきた要因もあるのか、昨年度と比較し「4.授業でのICTの活用状況前期について」は、平均値が3.42から3.58と上昇、「1.授業の技法について」は、平均値が3.36から3.51と上昇が見られた。一方、3.自身の学習態度の「授業時間以外に、この授業の各単元に対して、準備学習（課題、予習、復習等）をどの程度行いましたか」の小項目に関しては、遠隔授業への体制が整いつつある状況でも、昨年度と同様に低値となっており、昨年度も課題と考えられていた準備課題の提示状況や課題への取り組み時間の確保など改善が図れない理由を明確化するとともに各科目での対応が必要と考えられる。

前期・後期ともに授業評価の実施率の低下がみられた。委員会からの学生への通知のみでは、効果的が持続的でないと考えられる。委員会での入力状況のモニタリングを継続するとともに、次年度よりは、各科目責任者から授業終了時に授業評価の通知と実施入力の時間確保が必要と考えられる。

また、学生の授業評価の入力時に、前年度の教員による授業の改善計画が閲覧でき、改善計画を踏まえた本年度の授業評価を入力できるようにe-learningの設定を教育センターと調整していき、改善計画の実施状況を評価できるように調整していく必要が考えられる。